

# 大阪湾漁場環境速報

平成22年 3月 6日発行  
兵庫のり研究所

スケルトネマを優占種とした小型珪藻が大量発生し、広範囲に赤潮を形成しています。2月末以降のまとまった降雨により河川からの出水等の影響も見られましたが、小型珪藻の消費もあり栄養塩濃度は一部を除き低い状況となっています。今後も降水量は平年より多い予想となっていますので、強い風波、まとまった降雨等で漁場環境が大きく変化し、プランクトンの出現種組成の変化等により海況が好転するよう期待されます。

**(水温)** 表層は湾内9~11℃台で、平均10.3℃。平年(9.3)比1.0℃、昨年(9.6)比0.7℃それぞれ高い。-10m層は平均10.0℃(平年 9.4)。

**(塩分)** 表層平均31.68psu(平年 31.52)。-10m層平均32.16psu(平年 32.27)。

**(栄養塩、他)** 表層の窒素濃度は平均2.6 μg-at/L、リン濃度は平均0.20 μg-at/L。窒素は平年(6.2)より低く、リンはほぼ平年(0.22)並の値を示している。-10m層(平均)は、窒素2.5 μg-at/L、リン0.23 μg-at/L。河川水からの出水等の影響を受ける海域を除き、栄養塩濃度は低い値を示している。表層塩分が低い海域でスケルトネマ(優占種)やタラシオシラなどの小型珪藻が大量発生し赤潮を形成しており、先月同様、神戸港周辺で特に発生量が多かった。また、東浦沖(St. 07)で、夜光虫(ノクチルカ)による弱い赤潮も確認された。

上段(今回値)	平成22年 3月 5日調査
中段(昨年度)	平成21年 3月 4日調査
下段(平年度)	過去10ヵ年平均

調査地点	水温(℃)	塩分(psu)	三態窒素(μg-at/L)	磷酸(μg-at/L)
04	11.7	33.01	3.6	0.41
	9.8	32.16	4.2	0.30
	10.3	32.68	4.6	0.34
05	9.7	32.03	2.3	0.23
	9.7	31.73	2.8	0.19
	9.2	32.01	3.8	0.21
06	9.5	31.29	2.9	0.15
	9.6	32.34	3.9	0.38
	9.1	31.74	5.1	0.24
07	11.1	31.89	2.2	0.21
	9.7	32.10	3.7	0.32
	9.4	32.17	2.7	0.21
08	11.1	32.67	1.4	0.22
	9.6	31.76	4.0	0.25
	9.7	32.33	3.4	0.25
09	10.7	32.15	0.3	0.13
	9.7	31.82	3.9	0.23
	9.7	32.39	3.5	0.26
010	10.1	32.11	0.9	0.13
	9.6	31.98	3.7	0.26
	9.1	31.86	3.1	0.15
012	9.6	31.66	2.6	0.20
	9.4	32.10	8.7	0.50
	9.1	31.08	8.5	0.22
013D	9.5	31.69	1.2	0.13
	9.3	30.98	12.8	0.45
	8.9	30.83	12.1	0.20
016	9.6	29.80	5.9	0.14
	9.2	29.42	8.7	0.16
	8.8	29.24	15.5	0.16
017D	9.7	30.53	11.8	0.23
	9.4	30.25	7.4	0.14
	9.0	29.95	32.7	0.37
018	9.8	20.82	43.7	0.86
	8.9	23.03	52.4	1.46
	9.0	26.83	33.9	0.48
S1	9.6	30.63	1.4	0.14
	9.1	30.80	3.7	0.11
	8.9	30.58	8.1	0.17
S2	9.5	29.88	5.6	0.15
	9.1	30.28	5.2	0.09
	8.7	29.83	12.7	0.14
S3	10.6	31.87	1.2	0.14
	9.5	31.44	1.8	0.11
	9.3	31.46	5.2	0.16
S4	11.0	32.79	3.2	0.33
	10.4	32.75	5.5	0.46
	10.1	32.47	4.3	0.32



